

第26回 北水会記念病院 市民講座レポート

多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

当日の様子を報告いたします。

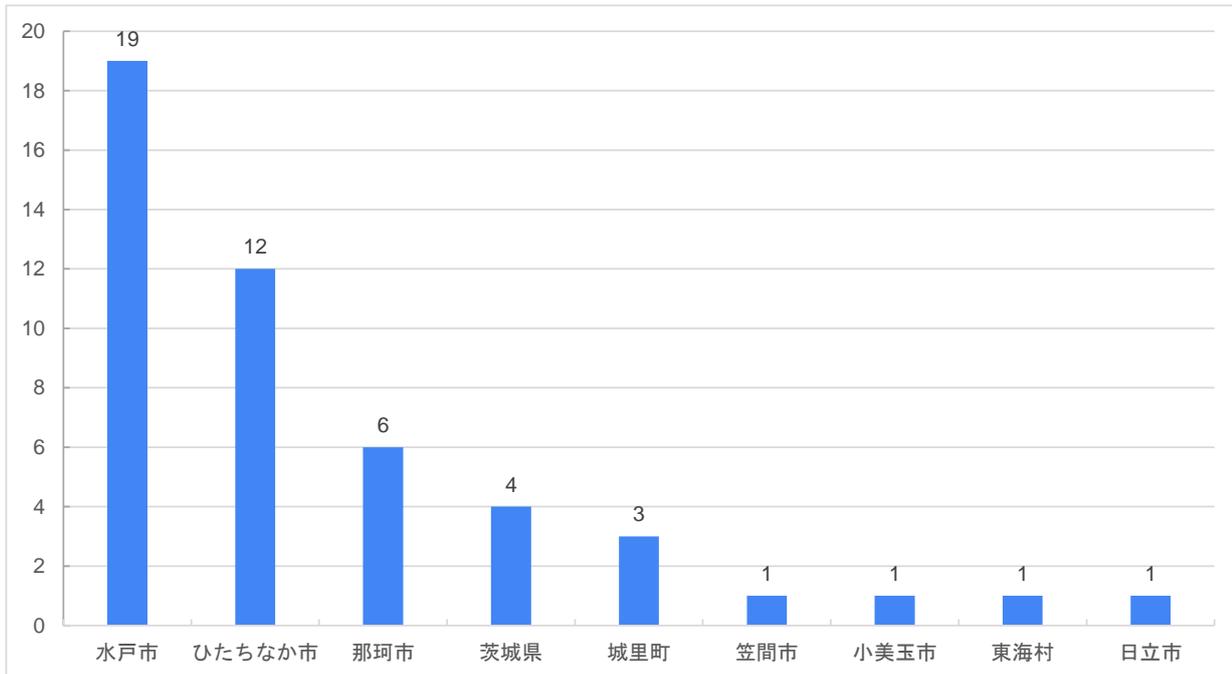


講演①	テーマ 発達障害において最新のテクノロジーを用いた支援の現状 講師 北水会記念病院 児童精神科 医師 熊崎 博一
開催日時	2022年 12月3日（土） 13：30～15：00
会場	オンライン（Zoom）にて実施
参加者数	94名

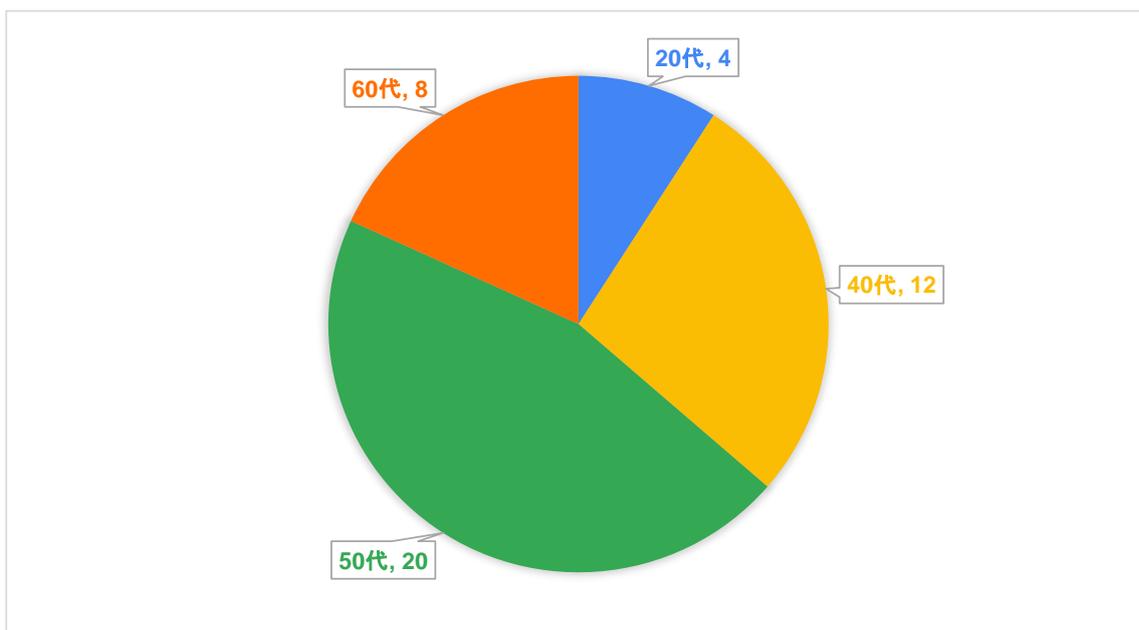
アンケート結果報告

アンケート回答件数 48件

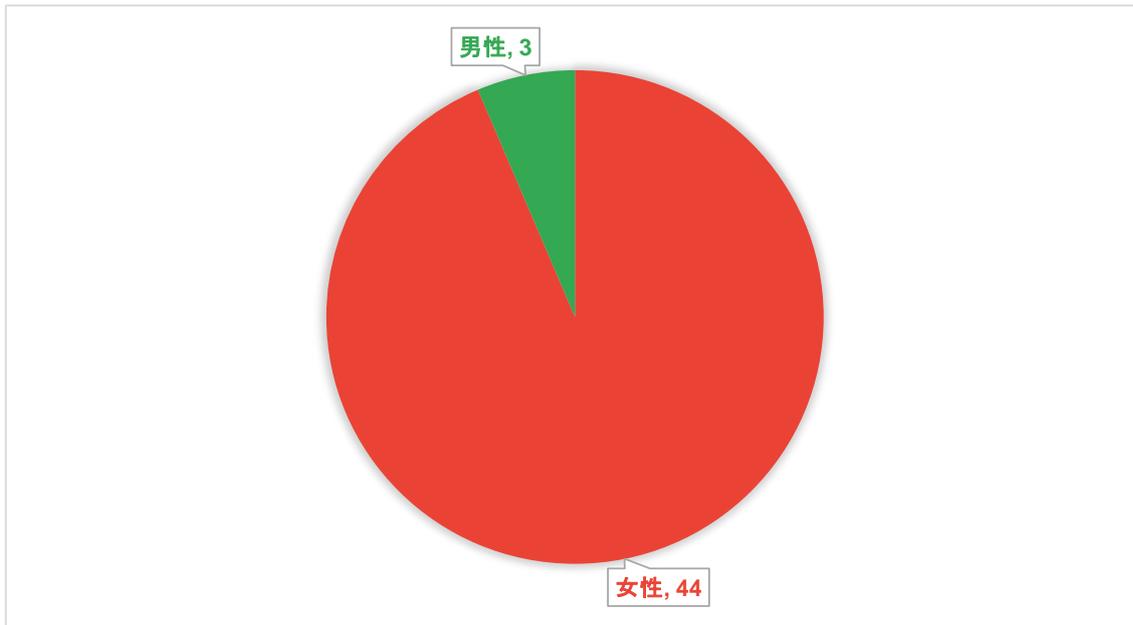
①お住いの地域を教えてください



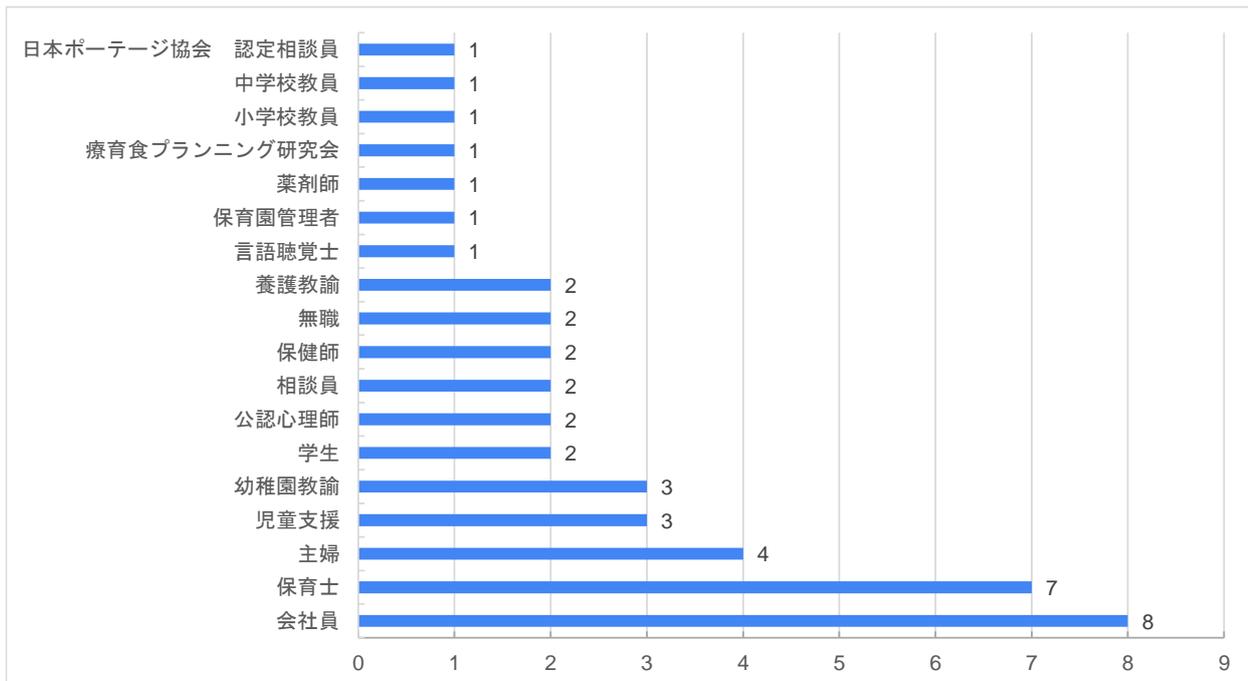
②よろしければ年齢を教えてください。



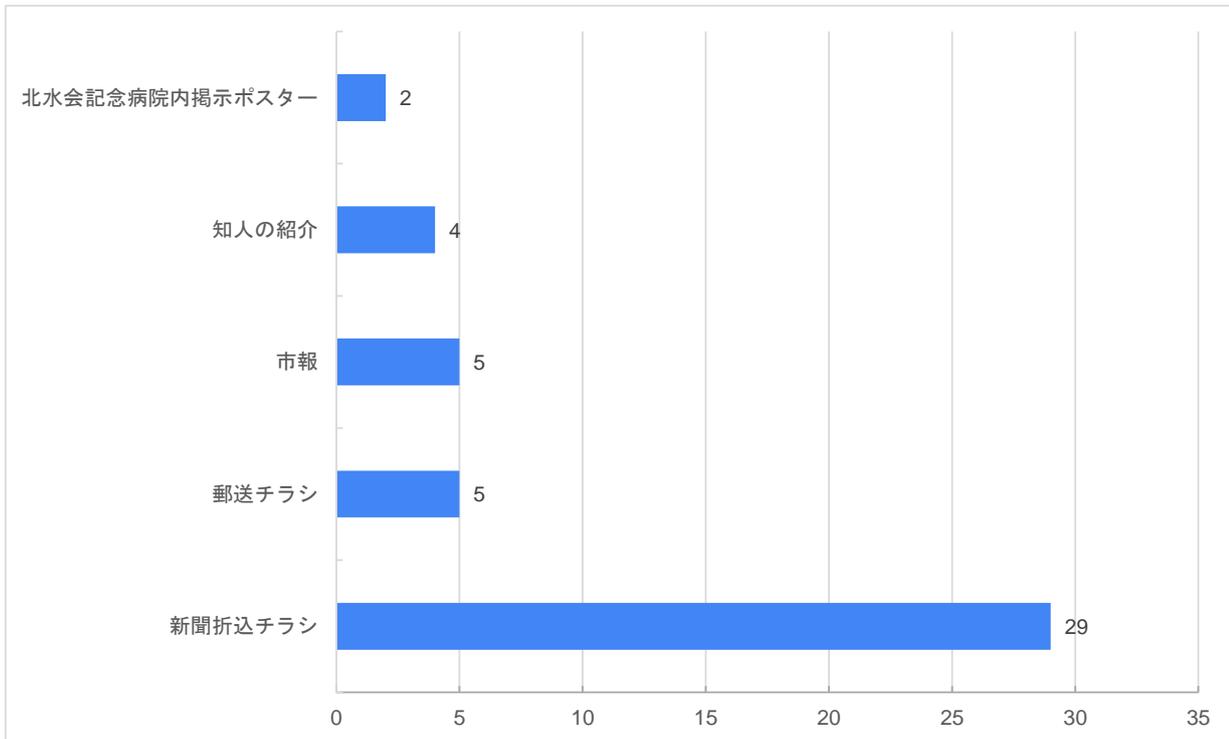
③性別を教えてください。



④ご職業を教えてください



⑤本日の市民講座は何を見てお知りになりましたか？

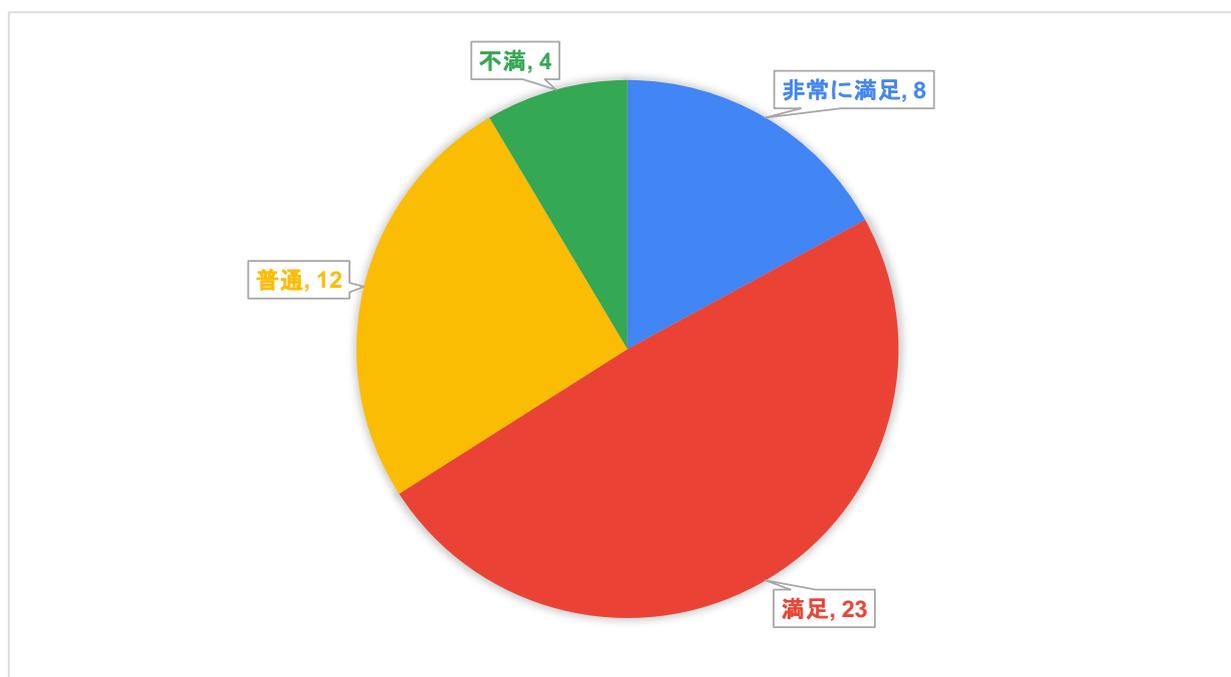


⑥本講座に参加された動機をお聞かせください。

- ・どんな支援方法があるのか、最新情報を知りたかったから。
- ・言語聴覚療法学科に通っており、発達について学んでいるため興味があったから。
- ・言葉の理解が少し遅い子がいるから
- ・子供が発達障害と診断されているので。
- ・仕事に関わることなので、より知見を深めたいため。
- ・熊崎先生のお話を伺いたかったから
- ・保育の参考にしたいため
- ・大人の発達障害に関する相談を受けることがあり、日頃から発達障害に関する情報収集に努めているため。
- ・子供の診察の際に病院のポスターの掲示をみて参加してみたいと思いました。
- ・発達障害で、心理系ではなく医学者の話を拝聴したかった。
- ・以前障害者病棟に勤めていた経験から、また、今後障害者支援施設等で働いていく予定があり、テクノロジーがもたらすものが、どういったものなのか、今後の展望も含め知ることが出来たらと思い受講しました。
- ・最新の支援テクノロジーについて知りたかった
- ・北水会で発達障害の子どもたちを診察してくださっている熊崎先生に興味を持って
- ・ADHDの中学生の家庭教師をしていたため。
- ・養護教諭時代に多くの発達障害のある子どもたちに出会い、また、身近にも発達障害を理解されず苦戦している人の存在もあり、ずっと関心を持ってきたので学びたいと

他

⑦本講座の感想をお聞かせください。

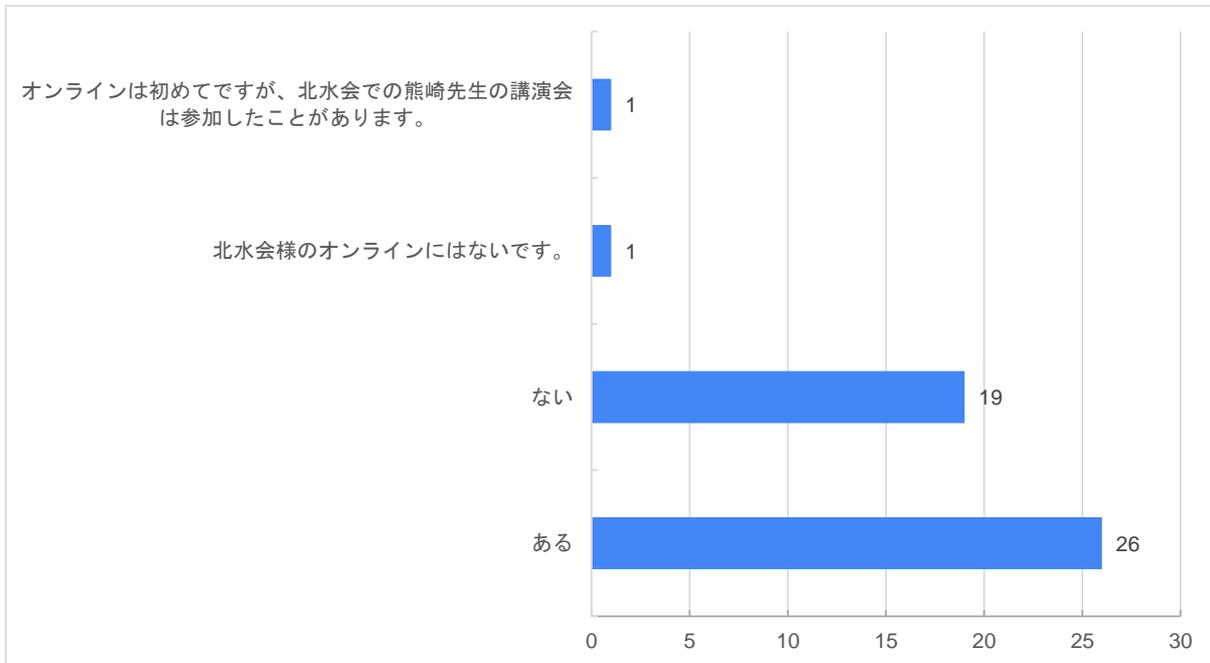


⑧上記の理由をお聞かせください。

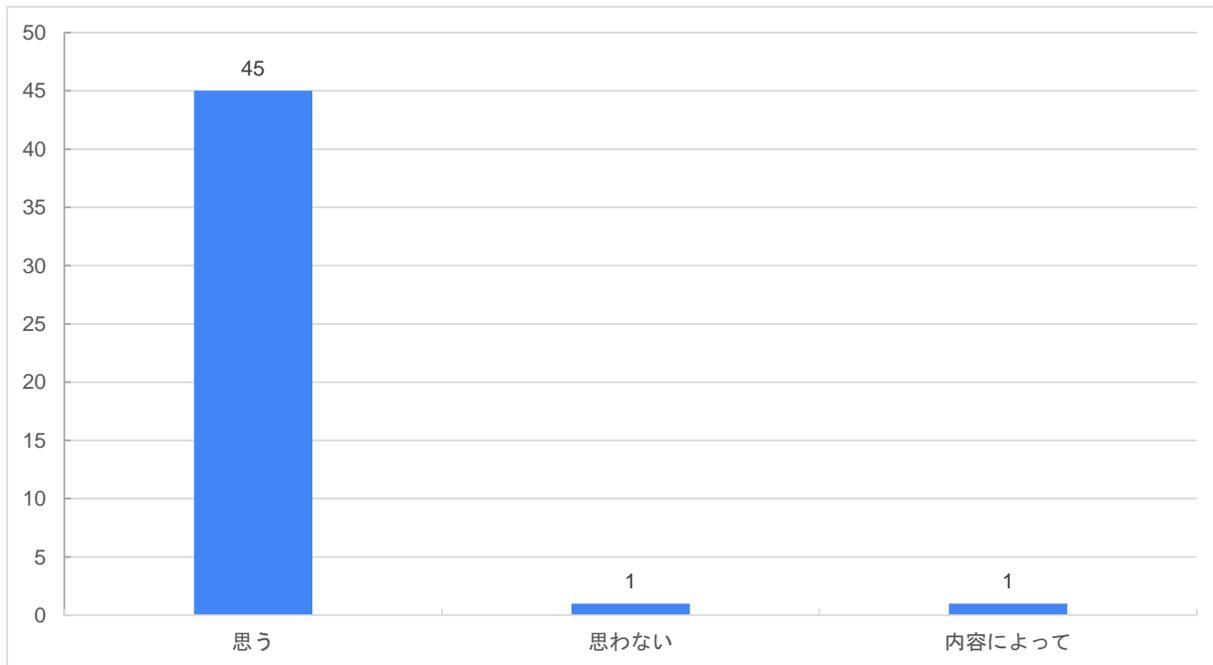
- ・とても分かりやすく説明いただきました。AIロボットの完成に期待しています。
- ・科学技術のアプローチからASDをうまく受け入れて暮らしていくことができたらいいなあと気持ちが少し明るくなりました。
- ・ロボットとの関わりの有効性を学びながら、ASDについて学ぶことができたため。
- ・アイトラッキングや嗅覚などの反応でスクリーニングができるかもしれないと興味深くお話をうかがいました。
- ・支援の中でテクノロジーが活用されているのは知っていましたが、診断場面で使われていることに驚きました。ロボットもいろんなタイプがあることを知りました。子どもたちと違い、高齢者の中にはテクノロジーの分野が苦手な方たちもいると思いますが、発達障害の方を含め、テクノロジーを活用することでコミュニケーションがしやすくなる方たちもいらっしゃいます。
- 以前から、介護現場にもロボットなどテクノロジーの活用が広がってほしいと思っています。私自身、近未来に要介護になる高齢者として、とても興味深くお話を聴くことができました。
- ・直接自分の仕事にはいかせませんが、このような研究が近くで行われていることを知ることができました。ぬいぐるみで関わること、よく行っています。
- ・内容が我が家に活かせないかなと思ったので。
- ・新しい知見に興味深かったです
- ・発達障害について、もう少し具体的な話しが聞きたかった。
- ・自閉症に特化したお話しで、AIなどの活用できるということはわかったが、じゃあ家庭で、日常でどうすればいいのか？ということが話されなかった。
- ・講師の音声がかうまく聞こえなかった

他

⑨オンライン講座に今まで参加したことはありますか。



⑩オンライン講座にまた参加したいと思いますか。



⑩今後聞きたいテーマなどございましたらお聞かせください。

- ・多動性障害を持つ子、LDなど支援を必要とする子に対して園と家庭でもできる支援について
 - ・協調運動障害が見られる児への運動的な関わりの仕方。
 - ・発達が気になるお子さんの保護者との関わり方など
 - ・ADS児の思春期の関わり方や現状を統計的に知りたい
 - ・境界知能について
 - ・発達障害の基礎や治療について熊崎先生のお話を伺いたい。
 - ・発達障害のタイプによって様々あると思いますが、有用な行動療法などについて
 - ・今回のお話の続編、コミュニケーション支援の具体的な事例
 - ・発達障害に対して、診断を付ける意味を時々考えることがあります。
- ただ、昨今に現状で、診断がついている方への支援は受けやすくなっています。熊崎先生に、診断を付けるメリット、デメリット、診断とは関係なく、どう生きていくのか、育てていくのかなどのお話を聞いてみたいです。
- ・進学に伴う困難について
 - ・診断までのプロセスをもう少し伺いたいです。

など

⑪その他お気づきの点がございましたらご記入ください。

- ・チャットが何度か入っていましたが、音声聞き取りづらかったところが残念でした。
 - ・チャットでの質問が入力ミスで出来ずに終わってしまったのが残念でした。
 - ・ビデオが流れると講師の声が聞こえなかったりと不具合な面もありました。
- また、事前に資料があり必要な方は印刷などできるとありがたいです。
- ・音声を安定していただくと更に聞きやすいです。
 - ・5歳という年齢が肝らしいことが分かりました。今振り返れば、思い当たらないこともなかっただけに早く気づいて（自分自身受け止めて）対処してあげられたら、と思ったりしました。
 - ・本日はありがとうございました。
 - ・とても勉強になりました。ありがとうございました。わかりやすかったです。
 - ・本日はありがとうございました。今後も研修会のお知らせが頂けると有難いです。
 - ・参加して良かったと感じました。とても有意義な時間でした。
- 知人にも知らせたいと思いました。
- ・茨城キリスト教大学でもADOS-2があり、私も臨床使用資格を取得していますがなかなか使う機会がありません。北水会記念病院さんでは、どの程度使用されているのか誰が実施しているのか知りたいと思いました。
 - ・今回の講演のチラシが「新聞の折り込み」に入っていたことに驚きました。
- こういう内容の講演は支援等に関わる関係者中心に発信されることが多いと思います。情報収集はいろんな方法でできますが、「新聞の折り込み」という一般の方たちが目に触れる形での発信がとても良いと思いました。
- 一般の方たちがどれだけ参加されるかわかりませんが、こういうことに取り組んでいる方たちがいることを知ってもらうだけでも意味があると思います。発達障害のある方たちへの理解も深まると良いなあと思います。
- そういう意味でも、「新聞の折り込み」に入れるという方法は大変でも続けてほしいです。講演の企画、運営、ありがとうございました。

など